

平成二十五年八月十五日

テレビにて久しぶり大峰山を中心とせる番組を見る。桐山靖雄師の團體と行を共にし、山伏姿になりて山上ヶ嶽に登りたるは既に四十年を越す昔なり。畫面に麓の洞川どろがはに現況現はれ、宿泊施設の増えたることに時の流れを感じたれど、「従是女人結界」なる石柱の健在なるがほほゑまれたり。

そも日本には古來、富士山を始めとし、高野山、比叡山、羽黒山など女人禁制の修行地多けれど、明治になりて早々、太政官布告にて「女人禁止廢止令」出され、寺院などそれに従ひて「女人結界」をはずせりとのこと。しかれどもこの大峰山、特定の教團にも寺院にも所屬することなければ法の適用まぬかれ、村人により女人結界守らる。世界遺産判定の折、女性委員の參加あらば入山は斷り、爲に指定のはづさるることありとも已むなしとの態度をとれりと言ふ。

當然のことに、氣鋭の女性團體、差別反對を唱へて運動を起し、贊同者なきにあらざるも、大方の反對を受けて効果を擧ぐることなく今に至れるがごとし。女人結界といはば大げさに聞こゆれど、實態は細き山道に簡素なる木の門、脇に石の柱ありて、その旨を告ぐるのみなれば、その境を越ゆるは至極たやすきことにて、現實には女子生徒を連れたる女教師の大峰山に登りたるためしありといふ。歸途村人に何ゆゑ地元の慣例を破るかと強く譴責せられて閉口したる由。

大相撲の土俵の、女人禁制なるは廣く知られたることにて、曾ては、海部内閣にて日本初の官房長官を任じられたる森山眞弓氏、あるいは大阪府の太田房江知事、表彰状を渡さんがため土俵にあがりたしと希望せるも、相撲協會、千三百年の傳統なればとてこれを斷れるは有名なる話として今に傳ふ。

歌舞伎とて、生れは女歌舞伎なれど、風紀の亂れもありて江戸幕府これを禁止し、以降、男のみの世界となる。これにつき、大峰山や大相撲ほどの反對論聞かぬは不思議なることなり。

福田恆存先生、常々「この世に人類などなし。男類及び女類のあるのみ」と言はれたり。漢字に女三人集れば「姦かしまし」と訓じ、男三人集れば「尔たほかる」と訓じらる。昨今の「振込め詐欺(たばかりの典型)」の犯人、男のみなる様子を聞くにつけ、人類の中にての男と女を考ふるより、男類及び女類存在とせざる方が、考へ事の整理に便ならむ、かかる男女觀、コペルニクスの轉回とならずや。

